

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 : ひのおか由紀の里
 作成日 : 平成25年4月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取りに関する指針作成や御家族への終末期支援に対する説明などは行っているが、具体的な支援方法や知識が不十分。	終末期や急変時の対応が入居者及び家族の意向に沿えるような事業所体制づくり。 御家族と関係医療機関との情報の共有化と連携が図れる。	終末期支援に対する事業所内研修の実施。 終末期の支援方法や急変時の医療に関する定期的な意思確認。	12ヶ月
2	35	火災・自然災害時の対応について、事業所のみでは限界があり、法人、関係機関、地域のさらなる協力、関係構築が必要。	火災のみならず、自然災害、異常事態に備え、地域、関係機関との連携、関係作りが図れる。	慌てず冷静に対処できるように訓練及び専門家の助言を積極的に受ける機会を設ける。 地域や関係機関に対して入居者の状況や事業所の特性などを理解していただく為の事業所啓発、働きかけを継続する。	12ヶ月
3	43 45	入居者個々がより快適に過ごす為の環境整備、見直しが必要。	入居者の日常生活に関わる環境を見直す事で、より快適な暮らしの提供が出来る。	排泄用品の整理と楽しめる入浴支援につながる浴室内外の環境作りを行なう。	6ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。